



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)弁天通3丁目計画新築工事	階数	地上13階/地下1階
建設地	神奈川県横浜市中区弁天通3丁目47番2、太田町3丁目35番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、病院、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年03月 予定	評価の実施日	2021年08月19日
敷地面積	1,081 m ²	作成者	坂田 典正
建築面積	756 m ²	確認日	2021年09月09日
延床面積	8,952 m ²	確認者	浅羽 義里



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 横浜都市街地環境設計制度
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 住居部分: 2.0% ≤ [昼光率]。	Q2 サービス性能 住宅部分: 階高 3.0m以上、非住宅部分: 階高:3.9m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して96%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



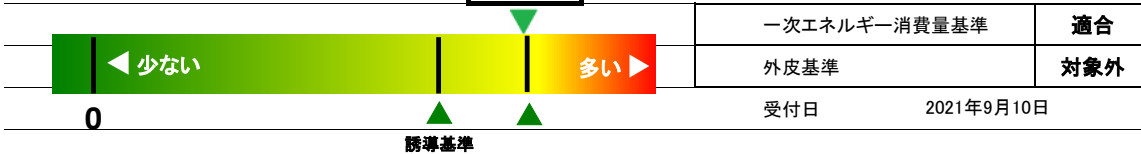
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称) 弁天通3丁目計画新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **0** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。

③[BEl] = 0.88(住宅部分)、[BEIm] = 1.0(非住宅部分)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫建物全体のコンセプトが明確にあり、内装計画の段階で、コンセプトを反映するための取り組みが具体的にされている。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯給水PEP(B)、排水VP(B)、給湯架橋ポリエチレン管(C)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑲植栽により、良好な景観を形成している。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



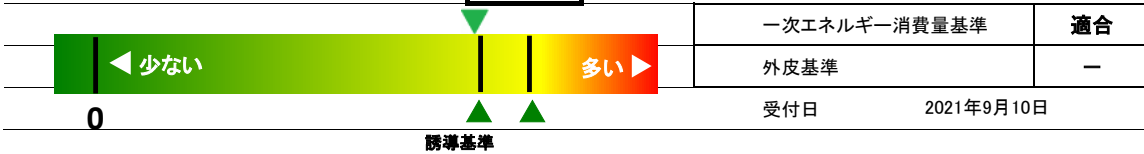
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)弁天通3丁目計画新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **12** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。

③[BEI] =0.88(住宅部分)、[BEIm] =1.0(非住宅部分)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯給水PEP(B)、排水VP(B)、給湯架橋ポリエチレン管(C)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑲植栽により、良好な景観を形成している。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 (仮称) 赤坂3丁目計画新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境										3.0
1 音環境				3.8	0.15	3.3	1.00			3.5
1.1 騒音				3.0	0.48	3.0	0.50			-
1.2 遮音				4.7	0.48	3.6	0.50			-
1.2.1 開口部遮音性能				5.0	0.89	5.0	0.30			-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.11	3.0	0.30			-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				3.0	0.05	-	-			-
2 温熱環境				2.4	0.35	2.5	1.00			2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.3	0.50			-
2.1.1 室温		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.57	3.0	0.62			-
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能		3.0	0.34	4.0	0.38			-
2.1.3 ゾーン別制御性				3.0	0.09	-	-			-
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境				2.0	0.25	3.6	1.00			2.8
3.1 屋光利用				1.8	0.35	4.0	0.30			-
3.1.1 屋光率		快適・働きやすさ ⑩光環境		1.0	0.56	5.0	0.51			-
3.1.2 方位別開口				-	-	3.0	0.27			-
3.1.3 屋光利用設備		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.44	3.0	0.22			-
3.2 グレア対策				1.0	0.27	4.0	0.30			-
3.2.1 屋光制御		快適・働きやすさ ⑩光環境		1.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.14	3.0	0.15			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.24	3.0	0.25			-
4 空気環境				3.6	0.25	3.8	1.00			3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.58	4.0	0.63			-
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ ⑪空気環境		4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.38	3.6	0.38			-
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ ⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.2.2 自然換気性能				-	-	5.0	0.33			-
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ ⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				5.0	0.05	-	-			-
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ ⑪空気環境		-	-	-	-			-
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ ⑪空気環境		5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.2
1 機能性				3.5	0.40	3.0	1.00			3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.03	-	-			-
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.03	3.0	1.00			-
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.95	-	-			-
1.2 心理性・快適性				4.8	0.30	3.0	0.40			-
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.06	1.0	0.50			-
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ ⑫機能性		2.0	0.03	-	-			-
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ ⑫機能性		5.0	0.91	5.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.50	-	-			-
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
2.1.1 耐震性		防災 ⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-			-
2.1.2 免震・制振性能		防災 ⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-			-
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-			-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-			-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.10	-	-			-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-			-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-			-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
2.4.1 空調・換気設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.2 給排水・衛生設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.3 電気設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.4 機械・配管支持方法		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.5 通信・情報設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.4	0.30	3.8	1.00			3.6
3.1 空間のゆとり				4.1	0.07	4.6	0.50			-
3.1.1 階高のゆとり				5.0	0.55	5.0	0.60			-
3.1.2 空間の形状・自由さ				3.0	0.45	4.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.07	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.4	0.85	-	-			-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
3.3.4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4

(仮称)弁天第3丁目計画新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑧地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	④敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.2	0.20	-	-	-	-	4.2
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	2.2	0.10	-	-	-	-	2.2
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.8	0.50	-	-	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.25	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	0.75	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.60	-	-	-	-	4.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			5.0	0.22	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.22	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.22	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.1	0.33	-	-	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目						-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-	-	-	-